



やらまいか

クラブテーマ：原点回帰

会長／金田 征宏 幹事／大島 嗣雄 会報委員会／中村 嘉輝・中西 弘徳 例会／毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 44 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP／<http://toyokawahoi.tank.jp>

本年度第42回 通算1479回 平成29年5月16日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	4/25 修正出席率
		62名	38名	66.1%	91.4%

ゲスト：社会福祉法人名世会 信愛医療療育センター 副センター長 草間龍一さん ビジター：マークアップ受付11名

★会長あいさつ

金田 征宏 会長



こんにちは。本年度の平尾カントリークラブさんの会場を借りての例会は、本日が最後になります。高桑ガバナー補佐、あり

がとうございました。

先週の日曜日に、豊橋北 RC 創立 60 周年記念式典に出席して参りました。式典の中で色々な事業の発表がありました。中でも、植樹と 530 運動を柱に色々な事業をされてきました。豊橋市を緑の多い街にしたいと 1960 年に植樹活動を始められたそうです。市内の街路樹、公園、学校などに植樹されているそうです。4,687 本を植樹されたそうです。1975 年には、530 運動を提唱されて、皆さんご存知の様に、豊橋が 530 運動発祥の地とされています。今後もこの活動を進められるそうです。もう一つの記念事業として、豊橋技術科学大学に留学されている留学生に対して、クラブ独自で奨学金を支給されるそうです。奨学金制度「サンクス基金」で 10 年間奨学生を支援されるそうです。毎月 2 名の奨学生に 10 万円ずつ支援されるそうです。大変素晴らしい事だと思います。

昨日、豊川市市民憲章推進協議会の総会がありましたので、出席して参りました。この会は、宝飯郡と合併する前に設立されたものです。市民生活における実践を通じて炭用豊かな豊川市の実現に資することを目的として組織されたものです。市民憲章は皆さんもご

存知かと思いますが、機会があれば、この憲章をご一読頂けたらと思います。よろしくお願い致します。

★幹事報告

大島 嗣雄 幹事

例会臨時変更について
今後の例会について

★外部講師の卓話

講師紹介

林博宣^{プロ} ougham 委員長

本日の講師を紹介させていただきます。草間龍一さんは、杏林大学医学部卒業され、杏林大学医学部付属病院小児科で研修し、小児救急の道へ入られました。さいたま市小児救急医療センター、公立長生病院を経て、重症心身障害児施設であるあしかがの森足利病院で重症児医療と出会いました。これまで得た手技、知識をフルに活用できる重症児医療に心奪われたまま、昨年 12 月より社会福祉法人明世会信愛医療療育センター開設準備室に入職。7 月のオープンに向けて全力で頑張っておられます。

卓話「信愛医療療育センターとは？」

草間龍一氏



こんにちは。本日は、このような発表の機会を頂きましてありがとうございます。

私は、小児科医師です。ここに来る前は、栃木の星風会

病院で院長をしておりました。ここも重症心身障害児の施設でした。その前は、あしかがの森足利病院で小児科医長をしており、ここは重症心身障害児だけで160床の受入があるマンモス病院でした。専門は、小児の栄養療法、胃瘻の専門をしております。医師以外のところでは、胃瘻の専門ガイドライン作成の担当、胃瘻のセミナーの幹事などのお手伝いをさせてもらっています。

信愛グループの理念は、小児から高齢者まで、重度の障害があっても、医療依存症が高くても安心して暮らせる医療・介護・福祉のトータルケアサービスを実現するという理念があります。この理念のもとに、今回の重症心身障害児の信愛医療療育センターを立ち上げることになりました。この背景には、もともと大石医院は在宅医療の力を入れていました。在宅医療をやっていると、どうしても在宅では見切れない患者さんが出てきてしまう。その場合には、他の病院にお願いをしなければならない。ところが、障害があったり、難病だったりすると、なかなか病院が患者の受入をしてくれません。それで、どんなに医療依存度が高くても、感染症の問題があっても、年中受け入れてくれる施設があれば、もっとも在宅でのケアが進むという考えのもとに、我々の施設は成り立っています。

これまでの流れとして、共生型福祉複合施設の設定をめざす会が出来て、社会福祉法人明世会設立へ。母体である医療法人信愛会の事業拡大と経営の安定化が不可欠となりました。そして、どんなに医療依存症が高くても、在宅支援を断らないという職員の意識啓発に努めています。

現在は、おとわの杜で、日中一時支援事業として、日中お預かりをさせて頂いております。ただ、おとわの杜は定員10名ですし、もともと介護老人保健施設なので、例えば何かあった時に、救急車で搬送をしなければなりません。やはり、ベースがきちんとした施設が望ましいという事で、今回の信愛医療療育センターが立ちあがったという流れになります。

重症心身障害児とは、重度の肢体不自由と重度の知的障害児が複合した状態で、医療的診断名ではなく、児童福祉の行政上の措置を行うための定義です。重症心身障害児の数は、推定で日本に約43,000人いると言われています。うち超重症児は、約10,000人いると考

えられています。それに対しての入所施設の数、全国で170ヶ所、約17,000床しかありません。入所と在宅の比率は、入所約13,000人に対して、在宅約30,000人です。

超重症児というのは、医学的管理下に置かなければ、呼吸をすることも、栄養を摂ることも困難な障害のある障害児を言います。

重症心身障害児の動向は、在宅が約70%で、施設に約30%です。現状でどのような問題があるかと言うと、小児医療はすごく発達しており、どんな状態でも、子どもさんは生かされます。新生児ICUがなかった時代では無理だった症例でも、現在は生きています。ただ生命的に生きていても、重い障害を持っていることが多いです。小児病院という所は、基本的には在宅の方向で治療がされています。在宅支援がかなり手厚く行われています。

ところが、在宅でしばらく生活をしていても、ターニングポイントが特別支援学校を卒業した段階です。その頃には、ご両親も高齢になってきます。そうなってくると昼間学校に行っていたが、行く学校がない。常に家にいる。そして世話をするご両親は、確実に体力が落ちていきます。そうなると家ではお世話ができないので、障害者施設やグループホームに入ることもありますし、我々の施設に来られることもあります。どの施設も入所者が段々と高齢化して来ています。全国の同じ施設で、入所者の平均年齢は40才を下回る施設はありません。40代~50代が多いです。

重症心身障害児施設は、2012年までは医療法の病院と児童福祉法の施設の複合体でした、2012年から制度変更となり、医療型と言われる旧来の重症心身障害者施設と福祉型の旧来の知的障害児施設や肢体不自由児施設など別れるようになりました。ちなみに、我々の信愛医療療育センターは、医療型の障害児入所施設になります。常に医療を必要とする患者さんが対象となります。これに対して、常に医療は必要ではないが、生活に対する支援が必要な患者さんは、生活介護病床に入ってもらえます。当院では、通所のみに対応をしています。

事業内容は、入所部門が医療型障害児入所施設、療養介護施設、医療型短期入所、特定短期入所になります。通所部門は、生活介護、医療型福祉型児童支援、日中一時支援、放課後等デイサービスになります。外来診療部門は、外来診療、訪問診療、外来リハビリテー

ションになります。

入所とは、病院に「入院」するということが、施設に「居住」ということが合体します。そうすると高度な医療を提供しつつ、快適な居住空間の提供をしていきます。

当院で可能な医療的ケアは、人工呼吸器、酸素吸入、気管切開、喀痰吸引、経管栄養（胃瘻他）、中心静脈カテーテル、膀胱瘻・腎瘻などです。

院内で対処する疾患は、肺炎、尿路感染などの感染症、けいれん発作、嘔吐、下痢、脱水症、腸閉塞など、入院治療の必要な多くの疾患が院内で治療可能です。

特殊検査、処置は、胃瘻、腸瘻カテーテル交換、経鼻胃管、経鼻空腸チューブ挿入や交換、イレウスチューブ挿入、気管カニューレ交換、気管支ファイバースコープ、気管支鏡下喀痰吸引、中心静脈カテーテル挿入、嚥下造影検査、嚥下内視鏡検査、膀胱瘻、腎瘻カテーテル交換などです。

入所者さんの生活は、毎日楽しく過ごせるようにプログラムを作っています。それとは、別に季節の変化を感じられるような活動も行っています。春は花見、夏は七夕、秋は運動会、冬はクリスマスやお正月などです。足利の時の写真ですが、支援学校の先生、看護師、医者、保育士など色んな職種が協力して、患者さんを楽しませる、笑顔にさせる為に頑張っていました。こちらでもこれを継承していきたいと思っています。

戸外活動として、施設の外に出て楽しみます。入所者さんの状態によっては、医師も同行します。お散歩、ハイキング、お買いものツアーなどです。足利の時には、毎年ディズニーランドに出掛けました。車で約1時間半から2時間かかります。人工呼吸器を積んで医師も看護師もついて行きました。

障害児だから、障害者だからと楽しみを奪ってはいけません。常に笑顔でいられる楽しい施設を目指してスタッフ一丸となって頑張ります。皆様にも色々ご協力をお願いすることがあるかと思いますが、

今後ともよろしく願います。ご清聴ありがとうございました。



★ニコニコボックス

小野喜明会員 誕生日を祝って頂き
宇野秀幸会員 誕生日・入会を祝って頂き
大場 篤会員 入会記念日を祝って頂き

★地区情報

新クラブ設立が設立しました。

名古屋宮の杜ロータリークラブ

【クラブ創立年月日】

RI加盟承認 2016年12月5日

創立 2017年1月19日

認証状伝達式2017年3月9日(チャーターナイト)

【会員数】 43名

【スポンサークラブ】 岡崎ロータリークラブ

【分区】 西三河中分区

【クラブアドバイザー】 大口 弘和

【クラブ事務所】

〒460-0008

名古屋市中区栄一丁目 22 番 16 号

TEL:(052)253-7821

FAX:(052)253-7820

E-mail: aichi2760@miyanomori-rc.jp

URL: <http://miyanomori-rc.jp>

【クラブ例会場】

〒451-8551

名古屋市西区樋の口町 3 番 19 号

ウェスティンナゴヤキャッスル

TEL:(052)521-2121

【クラブ例会日・時間】

第一・第三木曜日 12 時 20 分～13 時 30 分

会報担当：中村嘉輝会員・中西弘徳会員